



## 2026年5月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年4月14日

上場会社名 株式会社IGポート

上場取引所

東

コード番号 3791 URL <http://www.igport.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石川光久

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理担当 (氏名) 栗本典博

TEL 0422-53-0257

配当支払開始予定日 -

決算補足説明資料作成の有無：有

決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2026年5月期第3四半期の連結業績（2025年6月1日～2026年2月28日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年5月期第3四半期	10,560	△3.7	1,203	△2.8	1,270	2.4	997	39.8
2025年5月期第3四半期	10,969	32.9	1,238	47.4	1,241	27.9	713	△11.2

(注) 包括利益 2026年5月期第3四半期 999百万円 (42.5%) 2025年5月期第3四半期 701百万円 (△13.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年5月期第3四半期	49.66	-
2025年5月期第3四半期	37.30	-

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年5月期第3四半期	14,488	10,313	71.2
2025年5月期	13,092	7,829	59.8

(参考) 自己資本 2026年5月期第3四半期 10,313百万円 2025年5月期 7,829百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年5月期	-	0.00	-	11.00	11.00
2026年5月期	-	0.00	-		
2026年5月期（予想）				17.00	17.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2026年5月期の連結業績予想（2025年6月1日～2026年5月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,772	8.0	1,792	25.7	1,659	16.9	1,358	64.1	67.55

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有

新規 一社 (社名) 一、除外 2社 (社名) 株式会社シグナル・エムディ、Great Pretender razbliuto 製作委員会

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年5月期3Q	20,221,600株	2025年5月期	20,221,600株
② 期末自己株式数	2026年5月期3Q	175株	2025年5月期	1,091,641株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年5月期3Q	20,081,963株	2025年5月期3Q	19,130,023株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期の財政状態の概況 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書 .....	6
四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	8
(セグメント情報等の注記) .....	9
(重要な後発事象) .....	11

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境が改善するなか、緩やかな回復基調で推移いたしました。一方、地政学的リスクは一段と高まり国際情勢の不安定化が長期化していることや、米国の通商政策による影響等、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような事業環境のもと、当社グループはアニメーション作品の企画・制作を行う映像制作事業、コミック雑誌等の企画・製造・販売、電子書籍を含むコミックスの販売を行う出版事業、作品の二次利用による印税・収益分配金等を得る著作権事業、キャラクター商品の卸販売等を行う商品販売事業を中心に取り組んでまいりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は10,560,244千円（前年同期比3.7%減）、経常利益は1,270,934千円（前年同期比2.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は997,290千円（前年同期比39.8%増）となりました。

セグメントの経営成績は次のとおりであります。

なお、前連結会計年度よりセグメント区分を変更しており、前年同期比較につきましては、前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。詳細につきましては、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（セグメント情報等の注記）」に記載しております。

#### ① 映像制作事業

映像制作事業におきましては、テレビ用アニメーションは「キャンディー・カリエス」「左ききのエレン」「春夏秋冬代行者 春の舞」、劇場用アニメーションは「劇場版ハイキュー!! VS 小さな巨人」、配信用アニメーション「Star Wars Visions Presents -The Ninth Jedi」「THE ONE PIECE」等、納品へ向けそれぞれ制作しております。

テレビ用アニメーションの「花ざかりの君たちへ」は納品及び放映が始まりました。その他に、遊技機やCM等のアニメーションを制作し納品しております。

一部の作品については、制作期間の長期化や、人件費、CG制作費、外注費等が高騰しており、受注損失引当金を計上しております。

以上により、当事業の売上高は5,973,588千円（前年同期比12.7%増）、営業損失は670,574千円（前年同期は813,225千円の営業損失）となりました。

#### ② 出版事業

出版事業におきましては、月刊誌「コミックガーデン」、コミックス「転生貴族の異世界冒険録 14巻」「裏切られたので、王妃付き侍女にジョブチェンジ! 7巻」等、定期月刊誌9点、並びに新刊コミックス・書籍121点を刊行しました。

また、既刊コミックスの「魔導具師ダリヤはうつむかない～Dahlia Wilts No More～」は、電子書籍を中心に特に販売好調でありました。

なお、オリジナル新規作品の売上が伸び悩み傾向にありますが、「異世界転生」「なろう系」ジャンルの続刊作品の売上が電子書籍を中心に堅調に推移しており、今後も市場の動向を見極めながら対応していく予定です。

以上により、当事業の売上高は1,679,179千円（前年同期比1.1%減）、営業利益は230,804千円（前年同期比35.6%減）となりました。

#### ③ 著作権事業

著作権事業におきましては、「ハイキュー!!」「怪獣8号」「SPY×FAMILY」「進撃の巨人」「BUBBLE」等のシリーズタイトルを中心に、二次利用による収益分配を計上しました。

前期は「君に届け 3RD SEASON」や「劇場版 ハイキュー!! ゴミ捨て場の決戦」の収入が大きく寄与したため、その反動で売上高は減少しております。

以上により、当事業の売上高は1,721,789千円（前年同期比50.4%減）、減価償却費が前年同期と比べ減少し、営業利益は1,146,887千円（前年同期比32.8%減）となりました。

#### ④ 商品販売事業

商品販売事業におきましては、店舗開設許諾金の売上計上及び I.G & WIT Anime Studio Store や国内販売店への卸売を行いました。

以上により、当事業の売上高は998,488千円（前年同期比215.5%増）、営業利益は631,593千円（前年同期比712.0%増）となりました。

⑤ その他事業

その他事業におきましては、雑誌のイラスト描きや講師料等により、当事業の売上高は187,197千円（前年同期比1.4%増）、営業利益は9,522千円（前年同期比47.5%減）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

資産につきましては、前連結会計年度末に比べ1,396,648千円増加し14,488,738千円となりました。主な要因は現金及び預金が2,193,697千円、商品及び製品が81,221千円増加し、一方、売掛金及び契約資産が840,556千円、前渡金が130,631千円減少したことによるものであります。

(負債)

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ1,087,038千円減少し4,175,656千円となりました。主な要因は賞与引当金が131,676千円、長期借入金が100,000千円増加し、一方、前受金が523,481千円、未払法人税等が390,906千円、買掛金が150,674千円減少したことによるものであります。

(純資産)

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ2,483,687千円増加し10,313,082千円となりました。主な要因は主な要因は、株式会社サンリオと資本業務提携契約を締結し、同社を割当先とする第三者割当による自己株式の処分を行ったことにより資本剰余金が1,278,896千円増加し、自己株式の処分及び株式給付信託(J-ESOP)における株式給付等により自己株式が417,596千円減少しました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上及び配当金の支払いの結果、利益剰余金が785,074千円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年5月期の業績予想につきましては、2025年7月11日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年2月28日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,650,042	6,843,740
売掛金及び契約資産	5,415,679	4,575,123
商品及び製品	166,653	247,875
仕掛品	20,417	23,210
貯蔵品	8,719	8,937
前渡金	141,362	10,730
その他	243,183	368,536
貸倒引当金	△2,868	△668
流動資産合計	10,643,190	12,077,486
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	468,131	463,852
土地	651,249	651,249
映像マスター（純額）	251,375	219,990
その他（純額）	236,587	207,626
有形固定資産合計	1,607,344	1,542,718
無形固定資産		
コンテンツ資産	27,822	31,823
その他	64,753	64,079
無形固定資産合計	92,576	95,903
投資その他の資産		
投資有価証券	285,825	316,474
繰延税金資産	102,853	106,597
その他	360,299	349,557
投資その他の資産合計	748,978	772,629
固定資産合計	2,448,899	2,411,252
資産合計	13,092,090	14,488,738

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年2月28日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	898,048	747,374
未払金	162,373	132,114
未払印税	351,110	356,379
未払法人税等	475,194	84,287
前受金	1,212,374	688,893
預り金	439,993	468,272
賞与引当金	—	131,676
役員賞与引当金	78,688	28,071
受注損失引当金	511,792	571,900
株式給付引当金	69,252	—
その他	687,884	484,522
流動負債合計	4,886,712	3,693,492
固定負債		
長期借入金	—	100,000
退職給付に係る負債	127,085	125,102
役員退職慰労引当金	106,263	113,754
繰延税金負債	18,145	19,183
その他	124,488	124,123
固定負債合計	375,982	482,163
負債合計	5,262,694	4,175,656
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	781,500	781,500
資本剰余金	2,258,560	3,537,457
利益剰余金	5,193,036	5,978,111
自己株式	△417,660	△64
株主資本合計	7,815,436	10,297,004
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	—	109
為替換算調整勘定	13,958	15,968
その他の包括利益累計額合計	13,958	16,077
純資産合計	7,829,395	10,313,082
負債純資産合計	13,092,090	14,488,738

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
（四半期連結損益計算書）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2024年6月1日 至 2025年2月28日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2025年6月1日 至 2026年2月28日）
売上高	10,969,130	10,560,244
売上原価	8,581,238	8,120,741
売上総利益	2,387,891	2,439,502
販売費及び一般管理費	1,149,629	1,236,089
営業利益	1,238,261	1,203,413
営業外収益		
受取利息	3,834	11,807
持分法による投資利益	14,840	30,373
為替差益	—	21,267
受取賃貸料	18,297	18,892
その他	4,120	21,845
営業外収益合計	41,094	104,186
営業外費用		
支払利息	46	10
為替差損	4,347	—
賃貸収入原価	17,723	15,578
投資事業組合運用損	4,962	6,650
雑損失	9,835	8,521
弔慰金	—	5,000
その他	863	904
営業外費用合計	37,777	36,665
経常利益	1,241,578	1,270,934
特別損失		
減損損失	2,037	—
特別損失合計	2,037	—
税金等調整前四半期純利益	1,239,541	1,270,934
法人税、住民税及び事業税	554,550	276,407
法人税等調整額	△16,345	△2,764
法人税等合計	538,205	273,643
四半期純利益	701,336	997,290
非支配株主に帰属する四半期純損失（△）	△12,284	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	713,620	997,290

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年6月1日 至 2025年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年6月1日 至 2026年2月28日)
四半期純利益	701,336	997,290
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	—	109
為替換算調整勘定	80	2,009
その他の包括利益合計	80	2,119
四半期包括利益	701,416	999,409
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	713,701	999,409
非支配株主に係る四半期包括利益	△12,284	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2025年6月17日開催の取締役会決議に基づき、株式会社サンリオと資本業務提携契約を締結し、同社を割当先とする第三者割当による自己株式の処分(929,100株)を行いました。

この結果、前連結会計年度末と比べ、資本剰余金は1,278,896千円増加し、自己株式は347,028千円減少しました。

また、株式給付信託(J-ESOP)における株式給付等により、自己株式は70,644千円減少しました。当第3四半期連結会計期間末において、資本剰余金は3,537,457千円、自己株式は64千円となっています。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年6月1日 至 2025年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年6月1日 至 2026年2月28日)
減価償却費	1,401,705千円	274,066千円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年6月1日 至 2025年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	映像制作 事業	出版 事業	版權 事業	商品販売 事業	計		
売上高							
TV・配信・ビデオ用の アニメ映像制作	3,953,168	—	—	—	3,953,168	—	3,953,168
劇場用のアニメ映像 制作	373,242	—	—	—	373,242	—	373,242
その他のアニメ映像 制作	912,063	—	—	—	912,063	—	912,063
コミック・書籍の出版 販売	—	277,153	—	—	277,153	—	277,153
電子書籍の販売	—	1,420,760	—	—	1,420,760	—	1,420,760
映像コンテンツの版權 料	—	—	2,341,776	—	2,341,776	—	2,341,776
出版物に係る原作印 税収入	—	—	183,580	—	183,580	—	183,580
商品の販売等	—	—	—	316,454	316,454	—	316,454
その他	59,989	—	31,299	—	91,289	184,624	275,914
顧客との契約から生 じる収益	5,298,464	1,697,913	2,556,656	316,454	9,869,489	184,624	10,054,114
その他の収益	—	—	915,015	—	915,015	—	915,015
外部顧客への売上高	5,298,464	1,697,913	3,471,672	316,454	10,784,505	184,624	10,969,130
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	5,298,464	1,697,913	3,471,672	316,454	10,784,505	184,624	10,969,130
セグメント利益又は損 失(△)	△813,225	358,221	1,705,562	77,780	1,328,339	18,135	1,346,474

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、原稿(雑誌のイラスト)出稿や講師等を行っています。

2. 「その他の収益」には、製作委員会への出資から生じる収益の分配等の企業会計基準第10号「金融商品に関する会計基準」に基づく収益を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,328,339
「その他」の区分の利益	18,135
全社費用(注)	△108,213
四半期連結損益計算書の営業利益	1,238,261

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
(固定資産にかかる重要な減損損失)

当第3四半期連結累計期間において、「映像制作事業」に係る減損損失2,037千円を計上していません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 2025年6月1日 至 2026年2月28日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	映像制作 事業	出版 事業	著作権 事業	商品販売 事業	計		
売上高							
TV・配信・ビデオ用の アニメ映像制作	4,736,364	—	—	—	4,736,364	—	4,736,364
劇場用のアニメ映像 制作	364,854	—	—	—	364,854	—	364,854
その他のアニメ映像 制作	870,801	—	—	—	870,801	—	870,801
コミック・書籍の出 版販売	—	282,526	—	—	282,526	—	282,526
電子書籍の販売	—	1,396,653	—	—	1,396,653	—	1,396,653
映像コンテンツの版 権料	—	—	804,826	—	804,826	—	804,826
出版物に係る原作印 税収入	—	—	132,656	—	132,656	—	132,656
商品の販売等	—	—	—	998,488	998,488	—	998,488
その他	1,568	—	27,541	—	29,110	187,197	216,307
顧客との契約から生 じる収益	5,973,588	1,679,179	965,023	998,488	9,616,280	187,197	9,803,478
その他の収益	—	—	756,765	—	756,765	—	756,765
外部顧客への売上高	5,973,588	1,679,179	1,721,789	998,488	10,373,046	187,197	10,560,244
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	5,973,588	1,679,179	1,721,789	998,488	10,373,046	187,197	10,560,244
セグメント利益又は損 失(△)	△670,574	230,804	1,146,887	631,593	1,338,710	9,522	1,348,233

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、原稿(雑誌のイラスト)出稿や講師等を行っています。

2. 「その他の収益」には、製作委員会への出資から生じる収益の分配等の企業会計基準第10号「金融商品に関する会計基準」に基づく収益を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,338,710
「その他」の区分の利益	9,522
全社費用(注)	△144,820
四半期連結損益計算書の営業利益	1,203,413

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

前第4四半期連結会計期間から、「その他」に含まれていた「商品販売事業」について量的な重要性が増したため報告セグメントとして記載する方法に変更しております。なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の区分方法により作成したものを開示しております。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産にかかる重要な減損損失)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。